

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	4-2-1		事業名	地球に優しいまちづくり支援事業
担当	西区市民部地域振興課 石坂 Tel. 641-2400(内線253)			
全体計画				
事業内容	西区では環境モデル区として地域密着型エコ事業を展開してきたが、これまでのエコライフや環境活動が定着し、住民自らの手で継続・発展する「地球に優しいまちづくり」の側面支援を行うことにより、住民自治と環境文化の推進を図る。		＜年度別の事業内容＞	
	<p>1 地球に優しいまちづくり活動支援事業(環境活動に取り組む団体へ助成金による支援等)</p> <p>2 西区民会議活動推進支援事業(環境活動分野に応じ細分化した実践推進体・テーマ部会の新設により、これまでの地区別部会を併せた西区民会議の機能強化と活動の充実・発展)</p> <p>3 こども西区民会議ネットワーク支援事業(こども達の参加により作成した環境活動手引き絵本の普及及び次世代実践者育成のため児童・生徒対象の環境活動プログラムの実施・支援)</p> <p>4 新環境フロンティア事業(カーシェアリングやエコマネーなど先取的な取組・システムの先取事例調査)</p>		<p>＜平成19年度＞</p> <p>1 地球に優しいまちづくり活動支援事業</p> <p>2 西区民会議活動推進支援事業</p> <p>3 こども西区民会議ネットワーク支援事業</p> <p>＜平成20年度＞</p> <p>平成19年度の3事業の継続・拡充に加え、新環境フロンティア事業の実施。また、“ようこそ北海道洞爺湖サミットへ「エコまち西区deリレーイベント」”を実施した。</p> <p>＜平成21年度以降＞</p> <p>平成20年度事業の継続・拡充を図り、これまでの環境活動がさらに定着し、住民自らの手で継続するまちづくりに引き続き取り組む。</p>	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	<p>1 地球に優しいまちづくり活動支援事業(事業費:1,327千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区別部会 まちづくり団体助成金(1地区)</li> <li>・ペレットストーブモニター制度(6件)</li> <li>・ペレットストーブ実演展示キャラバン(6会場、5,700名)</li> </ul> <p>2 西区民会議活動推進支援事業(事業費:5,058千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンドルナイトin琴似二十四軒(779名、480店舗)</li> <li>・地区別部会 自主運営・自主活動への負担金(美味しいエコフェスタ、ちえりあ、3,000名)</li> <li>・地球に優しいまちづくり活動報告会とセミナー(区民センター、150名)</li> <li>・情報発信スペース新設(地下鉄琴似駅)</li> </ul> <p>3 こども西区民会議ネットワーク支援事業(事業費:2,079千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境活動手引き絵本「さんかくやまべが行く。」作成(編集局員23名、編集活動5回、7,000部作成)</li> <li>・水生生物観察会(2校、159名)</li> <li>・こども環境活動発表会(区民センター、200名)</li> </ul>		<p>1 地球に優しいまちづくり活動支援事業(2,400千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり団体活動助成金等(「地球に優しいまちづくりを進める西区民会議」、「美味しいエコフェスタ」「キャンドルナイトin琴似二十四軒」)</li> </ul> <p>2 西区民会議活動推進支援事業(2,813千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ようこそ北海道洞爺湖サミットへ「エコまち西区deリレーイベント」(4事業、2176名)</li> <li>・こども・自然環境部会(エコキッズ・プログラム3回220名、西区子ども体験学校24名、こども環境活動発表会200名)</li> <li>・エコライフ・リサイクル部会(生ごみ堆肥化グループ促進活動、多チャンネル型廃食油回収システム構築モデル実験8団体)</li> <li>・広報部会(地域密着型情報発信の推進)</li> <li>・“地球に優しいまちづくり”活動報告会とセミナー(150名)</li> </ul> <p>3 こども西区民会議ネットワーク支援事業(1,851千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(再掲)こども・自然環境部会</li> <li>・さんかくやまべキャンペーン</li> </ul> <p>4 新環境フロンティア事業(1,045千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(再掲)エコライフ・リサイクル部会(多チャンネル型廃食油回収システム構築モデル実験8団体)</li> <li>・先取事例調査</li> </ul>	
事業内容	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	<p>1 地球に優しいまちづくり活動支援事業(2,810千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり団体活動助成金等(「地球に優しいまちづくりを進める西区民会議」、「美味しいエコフェスタ」「キャンドルナイトin琴似二十四軒」)</li> </ul> <p>2 西区民会議活動推進支援事業(1,149千円)</p> <p>(1) 西区民会議「テーマ部会」「地区別部会」の側面的支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども・自然環境部会(エコキッズ・プログラム15回863名、こども環境活動発表会250名)</li> <li>・エコライフ・リサイクル部会(多チャンネル型廃食油回収システム構築モデル実験17団体)</li> <li>・広報部会(ごみダイエット・キャンペーン)</li> <li>・“地球に優しいまちづくり”活動報告会とセミナー(336名)</li> <li>・「美味しいエコフェスタ」地産地消型ライフスタイル普及啓発(3300名)</li> </ul> <p>3 こども西区民会議ネットワーク支援事業(2,093千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境ゲーム「さんかくやまべかるた」作成</li> <li>・(再掲)こども・自然環境部会</li> </ul> <p>4 新環境フロンティア事業(1,206千円)※このほか、公用車カーシェアリング実証実験事業費20,468千円を「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」を活用し執行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコ商店街推進事業</li> <li>・公用車カーシェアリング実証実験事業</li> <li>・(再掲)エコライフ・リサイクル部会</li> </ul>		<p>1 地球に優しいまちづくり活動支援事業(1,599千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり団体活動助成金等(「地球に優しいまちづくりを進める西区民会議」、「キャンドルナイトin琴似二十四軒」)</li> </ul> <p>2 西区民会議活動推進支援事業(3,067千円)</p> <p>(1) 西区民会議「テーマ部会」の側面的支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども・自然環境部会(エコキッズ・プログラム20回1150名、西区環境まちづくりリーダー制度による人材育成16名、さんかくやまべかるた大会4回計152名、西区子ども体験学校52名)</li> <li>・エコライフ・リサイクル部会(多チャンネル型廃食油回収システム構築モデル実験16団体、廃食油回収・リサイクルの「見える化」パネル作成)</li> <li>・広報部会(カーシェアリング)</li> <li>・企画部会:連携事業(西区こども環境広場500名、地球に優しいまちづくりフォーラム270名)</li> </ul> <p>(2) 西区民会議「地区別部会」の側面的支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンドルナイトin琴似二十四軒</li> <li>・エコタウンはっさむ</li> </ul> <p>3 こども西区民会議ネットワーク支援事業(1,070千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(再掲)こども・自然環境部会</li> <li>・こども環境記者(7人、8回)</li> </ul> <p>4 新環境フロンティア事業(721千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公用車カーシェアリング実証実験事業</li> <li>・(再掲)エコライフ・リサイクル部会</li> </ul>	
規模				
件数				
等				

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	4-2-1		事業名	地球に優しいまちづくり支援事業			
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)	
計画期間中の環境活動への参加者数(19年度からの累計)	24,322人	14,293人	30,795人	46,305人	57,965人	36,500人 (H19~22累計)	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 西区の環境活動の中心的役割を担う「地球に優しいまちづくりを進める西区民会議」において、町内会、学校、企業等が参加し、連携をとりながら地球に優しいまちづくりに取り組んでいる。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] 該当なし [人材協力] [情報協力] 西区民会議テーマ部会広報部会において、民間事業者の持つホームページや情報誌などの情報媒体を活用した情報発信により、区民のまちづくりへの参加促進を図る。 [その他の協力] 該当なし</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 「地球に優しいまちづくりを進める西区民会議」ホームページや、テーマ部会「広報部会」によるコミュニティFMやコミュニティ誌といった地域密着型の情報発信により、多くの市民が参加しやすい仕組みとなっている。</p>							
評価(成果)				課題			
<p>1 地球に優しいまちづくり活動支援事業 西区の環境活動の推進母体である「地球に優しいまちづくりを進める西区民会議」及び西区民会議地区別部会に対して、助成金による支援を行い、地域主体の環境活動を実現することができた。</p> <p>2 西区民会議活動推進支援事業 地球に優しいまちづくりを進める西区民会議のテーマ部会が、各々の活動について企画し、西区民会議本会議で協議・検討を行った。「こども・自然環境部会」では、「エコキッズ・プログラム」や環境に関する学習会や自然観察会において、助言や解説を行う人材(リーダー)の育成「西区環境まちづくりリーダー制度」を実施し、子どもたちの環境意識の更なる向上と次世代実践者育成を図った。「エコライフ・リサイクル部会」では、西区民会議の組織力を活かし、多チャンネル型の廃食油回収システムをモデル的に運用し、平成23年4月現在、17団体からの参加を得ている。「広報部会」では、わかりやすい情報提供を推進するため、コミュニティFMの活用など、地域密着型の情報発信に取り組んだ。各部会連携事業として「西区こども環境広場」「地球に優しいまちづくりフォーラム」を行い、多くの区民に環境について考える機会を提供している。</p> <p>3 こども西区民会議ネットワーク支援事業 西区の自然やエコ活動を学ぶため、21年度に作成した西区オリジナルの環境ゲーム「さんかくやまべかるた」を使って、「さんかくやまべかるた大会」を実施した。また、「こども環境記者」を公募で選出、市内の施設見学や環境活動取材し、ブログや壁新聞で発信した。</p> <p>4 新環境フロンティア事業 区職員が外勤で使用する公用車に、環境負荷の少ない電気自動車2台を導入。この2台の電気自動車を、市民と共同で利用するカーシェアリングの実証実験を平成21年11月から開始した。事業を契機に、札幌市内におけるカーシェアリング会員が増加するなど、カーシェアリングや電気自動車についてのPR効果が現れた。</p>				<p>第1次、第2次札幌新まちづくり計画を通じて、「地球に優しいまちづくりを進める西区民会議」を中心とした地域密着型の環境活動を推進し、区民一丸となった住民主体の環境活動が定着してきたところである。</p> <p>その一方で、「地球に優しいまちづくりを進める西区民会議」の認知度においてはまだ十分に浸透するには至っていないことから、今後はさらなる活動のPRが求められている。</p>			
<p>「地球に優しいまちづくり、エコライフ・コミュニティ」を実現していくためには、地域住民が主体的に活動することが必要不可欠であり、その活動の中心的役割を担うのが平成16年に設立した「地球に優しいまちづくりを進める西区民会議」である。</p> <p>これまで、西区民会議「テーマ部会」では、「こども・自然環境部会」「エコライフ・リサイクル部会」「広報部会」として、環境分野を細分化し、機動性のある実施推進体が率先して環境活動を実践したほか、西区民会議「地区別部会」では、「キャンドルナイトin琴似二十四軒」といった、地域特性を活かした環境活動を展開してきた。</p> <p>平成22年度は、各テーマ部会の代表などにより、新たに「企画部会」を組織し、テーマ部会間の連携を強化し、こども環境活動発表会をレベルアップした西区こども環境広場や地球に優しいまちづくりフォーラムを行い、多様化する環境活動をより効果的に実施することができた。</p> <p>第1次、第2次札幌新まちづくり計画期間の事業実施を通じて、環境モデル区(平成19年度からは環境推進区)として地域密着型エコ事業を展開することで、これまでのエコライフや環境活動が定着し、住民自らの手で継続・発展するまちを目指し、「地球に優しいまちづくりを進める西区民会議」の側面支援を行うことにより、住民自治と環境文化の推進を図るという目的について一定の成果が挙げられた。今後も継続して、「地球に優しいまちづくりを進める西区民会議」のあり方についても議論を深め、区民が一丸となって「環境推進区」西区の取組を進めていく。</p>							

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		4-2-1			事業名	地球に優しいまちづくり支援事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	5,000	3,500	3,500	3,000	15,000				
	財源内訳	国・道支出金	250	0	0	0	250			
		市の債	0	0	0	0	0			
		その他の	0	0	0	0	0			
一般財源	4,750	3,500	3,500	3,000	14,750					
予算	事業費	5,000	4,200	6,000	4,200	19,400				
	財源内訳	国・道支出金	250	0	0	0	250			
		市の債	0	0	0	0	0			
		その他の	0	0	0	0	0			
一般財源	4,750	4,200	6,000	4,200	19,150					
実績	事業費	8,464	8,109	7,258	6,457	30,288				
	財源内訳	国・道支出金	142	0	0	0	142			
		市の債	0	0	0	0	0			
		その他の	0	0	0	0	0			
一般財源	8,322	8,109	7,258	6,457	30,146					
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)					201.9%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
<p>[19年度] 環境普及活動や環境活動支援として、環境活動手引き絵本増刷やWeb版の制作等を行ったため、事業費実績が増額となった。</p> <p>[20年度] 地球に優しいまちづくりを進める西区民会議など自主的な環境活動への助成や北海道洞爺湖サミット開催に伴い実施した「エコまち西区deリレーイベント」など、新規事業実施に伴い事業費が増額となった。</p> <p>[21年度] 上記に計上した事業費のほか、新環境フロンティア事業として、先駆的な環境活動の取組「公用車カーシェアリング実証実験事業」の実施にあたり、事業費20,468千円を執行した。当該事業費には、国の緊急経済対策「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」を活用した。</p> <p>[22年度] 新たにテーマ部会「企画部会」を設立するにあたり、補佐・調整役として、まちづくり全般に対し見識や実績を有するコンサルタント等が、必要に応じて各部会の活動支援や各部会の連携をサポートすることとなったため、事業費が増額となった。</p>										